

I 令和5年度事業報告書及び事業報告の附属明細書

(1) 事業体系

公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団は、アジア太平洋博覧会-福岡'89の成功を記念するとともに、市民一人ひとりが多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現に寄与し、もって、地域の発展と国際平和に貢献するという当財団の目的に向けて、下記の4つの柱に基づき各種事業を実施した。

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業として、福岡アジア文化賞の共催及びアジア太平洋こども会議への助成を行った。

② 市民の国際交流を促進する事業

市民の国際理解・国際協力への意識の高揚を図り、国際交流を推進するため、ボランティア交流推進、語学等を通じた国際理解、国際交流団体のネットワーク推進等を行った。

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

外国人にも住みやすく活動しやすいまちにするため、窓口相談や各種情報提供をはじめ、在住外国人等への支援を行った。

また、福岡都市圏で学ぶ外国人学生が安心して勉学に励むことができるように、留学生宿舎の管理運営や外国人学生支援を行った。

④ グローバル人材を育成する事業

国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、奨学金の支給や留学生と企業との交流サロン等を行った。

(2) 事業報告

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

ア 福岡アジア文化賞

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行されたことに伴い、令和5年度の第33回授賞式は一般参加者が見守る中、秋篠宮皇嗣同妃両殿下に御臨席を賜り、開催することができた。

また、市民フォーラムや学校訪問も対面で開催することができ、多くの市民の方々に参加いただいた。

(ア)主 催 福岡市、(公財)福岡よかトピア国際交流財団
運営母体 福岡アジア文化賞委員会
事務局 福岡市総務企画局国際部内

(イ)授 賞 式 令和5年9月12日、福岡国際会議場メインホール

(ウ)受賞者

- a 大賞 トンチャイ・ウィニツチャクン氏(タイ/歴史学者)
- b 学術研究賞 カターリヤ・ウム氏(米国/政治学者、東南アジア研究者)
- c 芸術・文化賞 張 律(チャン・リュル)氏(中国/映画監督)

(エ)市民フォーラム

- a 大賞 令和5年9月15日、アクロス福岡4F国際会議場
- b 学術研究賞 令和5年9月14日、アクロス福岡4F国際会議場
- c 芸術・文化賞 令和5年9月13日、中洲大洋映画劇場

(オ)学校訪問

- a 大賞 令和5年9月13日、香住丘高等学校
- b 学術研究賞 令和5年9月15日、上智福岡中学高等学校
- c 芸術・文化賞 令和5年9月14日、九州産業大学

イ「アジア太平洋こども会議・イン福岡」助成

アジア太平洋各地のこどもたちとの異文化交流による国際理解を推進するため、「BRIDGE KIDS PROGRAMS 2023」への助成を行った。

(ア)主催 NPO法人アジア太平洋こども会議・イン福岡 (APCC)

(イ)主な事業内容

a 招へい型事業:BRIDGE Summer Camp

世界30以上の国や地域から200名を超える11歳のこども大使とシャペロン(引率者)らが来福。7月14日から25日までの12日間に渡り、福岡のこども達や市民らと触れ合う異文化交流を行った。

参加国・地域 34か国・地域、41団体

参加者数 225名

b 派遣型事業:BRIDGE Challenge Trip

春休み期間中、韓国、シンガポール、モルディブ、モンゴルの4か国に、福岡から総勢60名の青少年を派遣、現地で交流を行った。

② 市民の国際交流を促進する事業

ア 国際交流活動助成事業

福岡市民の国際交流を支援し、福岡市のさらなる国際化及び多文化共生社会の実現を推進するため、国際交流事業を実施する5団体に助成を行った。

(ア)制度概要

a 国際交流活動助成

市民の国際交流、国際理解、国際協力等に資する活動を行う団体および個人に対し、助成対象経費の5割以内で、1件20万円まで助成

b 国際交流活動人材育成助成

対象団体の運営従事者が、当該団体の発展または目的達成のために必要とする講座・セミナー・研修会等を受講する場合の受講費用・学費、教材費、交通費、宿泊費等を1団体あたり、年間2万円まで助成

(イ) 令和5年度実績

応募件数 国際交流活動助成5件

採択件数 国際交流活動助成5件

助成金額 917,499 円

イ 外国人支援ボランティアバンク

地域住民と外国人の相互理解、国際交流を促進するとともに、福岡市内で生活または活動する外国人へ支援を行う「外国人支援ボランティアバンク制度」を運用し、登録ボランティアによるよりきめ細かな外国人支援を行った。

登録者数 366名(延べ登録者数 763名)

登録言語数 24言語

延べ活動者数 184 名

(ア) ボランティアの種類

a 通訳・翻訳

- ・日本語から外国語または外国語から日本語への通訳・翻訳
- ・保育所や学校からの配布物、その他郵便物等の簡単な翻訳・通訳、日常生活の相談(チュータープログラム)

登録者数 275名

支援件数 24件(通訳・翻訳)、24件(チューター)

b 交流支援

日本人と外国人の交流、外国人支援に関する事業等の企画・運営を支援

登録者数 296名

支援件数 13件

c 災害時外国人支援

災害時における情報の収集及び福岡市災害時外国人情報支援センター等からの外国人への情報伝達並びに防災力向上に関する活動の通訳・翻訳

登録者数 148名

支援件数 0件

d ホストファミリー

在福・来福の外国人を家庭に招待。宿泊・食事を共にするホームステイまたは宿泊を伴わないホームビジットを通じて、日本の文化、生活習慣等への理解や交流を深める機会を提供し、文化や習慣の学び合い、理解と友情の育成につなげる。

登録者数 44名

利用件数 ホームステイ 13件

ホームビジット 4件

(イ) 登録ボランティアによる行政情報発信

計5件の情報を延べ700名の登録ボランティアへ発信

(ウ) ボランティア研修

ボランティア登録者に対し、通訳時の基本的な心構えや注意点、活動に必要な知識や情報を提供する研修を実施した。また、災害時外国人支援の登録者に対し、災害時対応等に関する研修を実施した。

実施回数 6回

参加者数 69名

(内訳) 全員を対象とした基礎研修:3回(35名)

行政書士通訳専門研修:3回(34名)

ウ 語学等を通じた国際理解

(ア) 留学生から学ぶ外国語教室

留学生を講師として、交流の有効な手段の一つである「言葉」の習得を手助けする外国語教室を開催するとともに、各国の文化や生活習慣等、言葉以外の方法で体験するイベント型の講座を開催し、市民が気軽に多様な文化に触れ、国際交流・国際理解を深める機会を提供した

a 共 催 福岡市

b 開催期間 令和5年7月～令和6年2月

c 内 容 中国語、韓国語、ベトナム語等10言語、12講座を実施

d 定 員 各クラス16名

e 講 師 福岡都市圏の大学・短大に在籍する、または福岡市内に在住の留学生

f 受講者数 159名

※留学生から学ぶ外国語教室・番外編

a 来て見て楽しんでフランスの魅力

・開催日 令和6年2月17日

・会場 九州日仏学館

・内 容 フランス人留学生による「旅行で役立つフランス語講座」
フランスの魅力(観光、文化、オリンピックなど)の紹介

・参加者数 35名

(イ) フランス語講座

福岡市の姉妹都市であるフランス・ボルドー市との交流を促進するため、九州日仏学館と共催でフランス語講座を行い、フランス語を習得する機会を市民に提供した。

a 主 催 九州日仏学館

共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団

b 事務局 九州日仏学館内

c 実 施 年4回(春、夏、秋、冬) 各3か月

d 講座数 309講座

e 受講者数 延べ2,015名

(ウ) 外国人による日本語スピーチコンテスト

外国人に日本語を学ぶことを奨励するとともに、日本人と外国人の相互交流・相互理解の場を提供するため、日本語スピーチコンテストを開催した。

また、コンテストの様態について、一定期間、動画配信を行った。

- a 主 催 日本語スピーチコンテスト実行委員会
構成団体 日本語学校及び日本語教室 14団体
共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、福岡市
福岡外国人学生支援の会
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 開催日 令和5年11月3日
- d 会場 福岡市科学館サイエンスホール
- e 出場者 12名
- f 来場者 174名
- g 動画配信 令和5年11月13日～令和6年1月13日
- h 視聴回数 457回

(エ) 国際理解教育講師派遣

青少年の国際理解の推進・国際力の育成を目的として、福岡県内の小・中学校等へ留学生等を講師として派遣した。

- a 主 催 福岡国際理解教育講師派遣事業協議会
構成団体 福岡県、福岡市教育委員会、北九州市教育委員会
(公財)福岡よかトピア国際交流財団
(公財)福岡県国際交流センター
(公財)北九州国際交流協会
- b 事務局 (公財)福岡県国際交流センター内
- c 実施時期 令和5年4月～令和6年3月
- d 派遣回数 16校・19回(福岡市内)
- e 参加者数 2,241名(福岡市内)

エ 国際交流団体のネットワーク推進等

(ア) 福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)

福岡都市圏の国際交流・協力を行う様々な団体間の連携を図り、地域の国際化の推進に寄与することを目的として、総会・連絡会及び加盟団体を紹介するパネル展などを開催した。

- a 主 催 福岡国際関係団体連絡会
構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団等64団体
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施時期 総 会 1回(4月)
連絡会 2回(4月、12月)
パネル展 令和5年8月16日～22日、福岡市役所1階多目的
スペース
創立35周年イベント「FUKU-NET Friendship Festival」
令和5年12月9日、10日、アクロス福岡2階交流
ギャラリー

オ 国際交流推進

(ア) 姉妹都市等との連携・交流

姉妹財団である釜山国際交流財団主催のイベントへの招待はなかった。

(イ) 子ども及び子育て支援事業

市民の国際交流の促進や外国人支援の強化を図るため、他機関・部門と連携して事業を実施した。

a 絵本でアジアを旅しよう

福岡アジア美術館が日本語で実施している「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」に、当財団の登録ボランティアを派遣し、外国語による絵本の読み聞かせを行った。

・開催日 令和5年7月9日(韓国)、10月8日(台湾)、
令和6年1月14日(スリランカ)、3月10日(タイ)

・参加者数 合計210名

b 外国語による絵本の読み聞かせ

早良図書館と共催で、各国の挨拶の紹介や手遊びを交えながら、英語、ベトナム語、中国語による絵本の読み聞かせを行った。

・開催日 令和5年10月8日

・参加者数 18名

c 外国語のおはなし会

総合図書館と共催で、ベトナムのじゃんけん、韓国の手あそび等を交えながら、ベトナム語と韓国語による絵本の読み聞かせを行った。

・開催日 令和5年12月2日

・参加者数 31名

d やさしい日本語ツアー

福岡市美術館と共催で、母語が日本語ではない親子を対象に、やさしい日本語を使って常設展示室のツアーを行った。

・開催日 令和5年8月20日、11月19日

・参加者数 合計18名

e 外国にルーツを持つ子どものための進路相談会

外国NPO法人とともに生きる街ふくおか、福岡YWCA他と共催で、外国にルーツを持つ子どものための進路相談会を実施した。

・開催日 令和5年8月27日

・相談者数 30名

f 子育て交流サロンの広報支援と英語で絵本の読み聞かせ

奈良屋公民館の子育て交流サロンを多言語で広報するとともに、英語での絵本の読み聞かせを行った。

・広報支援 令和5年12月8日、12月12日、令和6年2月13日

・読み聞かせ 令和6年2月13日

・参加者数 合計72名

g 国連職員と一緒にまちづくりをしよう

国連ハビタット福岡本部の職員を講師に迎え、小学4年生から中学3年生までを対象としたSDGsに関するワークショップを実施した。

・開催日 令和6年3月23日

・参加者数 23名

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

ア 福岡市外国人総合相談支援センター

(ア) 一般相談・情報提供

「福岡市外国人総合相談支援センター」では、令和5年8月にネパール語相談支援員を配置したほか、10月には相談しやすいローカウンターやプライバシーに配慮した相談スペースを設置するなど、相談体制の機能強化に努めた。

また、国際交流・国際理解・国際協力に関する資料収集・情報提供及び外国人住民への生活情報の提供・相談などを実施し、ホームページや Facebook、LINE を活用した積極的な情報発信に努めた。

a 電話通訳サービスを含め22言語(やさしい日本語含む)での相談対応

相談者数 3,064名(来訪1,047、電話1,555、メール等462)

※うち、外国人 1,988名(国籍不明者含む)

b ローカウンター、プライバシーに配慮した相談スペースの設置

c 英語、中国語及び韓国語相談員、ベトナム語相談支援員に加え、新たにネパール語相談支援員を配置

d 4地点4者による電話通訳サービス、タブレット及びポCKETクを活用した多言語相談対応

e フリーダイヤルやLINEコールを活用した電話相談

フリーダイヤル 497件(上記「a」の電話の内数)

LINEコール 21件(上記「a」の電話の内数)

f 無料 Wi-Fi の利用提供

福岡市国際会館1階及び4階国際交流フロア

g パンフレット等の資料収集・提供

h 語学学習情報の提供

i ホームページ(リビングイン福岡等)、Facebook、LINE による情報提供

ホームページアクセス数 364,617件(ページビュー数)

Facebook 情報発信件数 240件

LINE 友達登録件数 517件

LINE 情報発信件数 37件(VOOM32、チャット投稿5)

(イ) 外国人専門相談

外国人住民の生活上の諸問題について、専門家による無料相談会を実施した。

α 外国人法律相談

法律、慣習や文化の違いから、紛争解決に関して一般的に弱い立場に置かれがちな外国人に対し、福岡県弁護士会と共催で法律的な助言、情報提供を行い、必要に応じて通訳を手配した。予約制で月2回（第1土曜日・第3水曜日）開催。

- ・実施回数 19回
- ・相談者数 47名（19か国・地域）
- ・相談内容件数 57件

β 外国人のための入国・在留・国籍に関する相談

外国人の在住のために不可欠な在留資格や住民登録等の行政手続に関し、福岡県行政書士会との共催で情報提供と助言を行った。英語と中国語の通訳が常駐し、予約不要で月1回（第2日曜日）開催。

- ・実施回数 12回
- ・相談者数 100名（27か国・地域）
- ・相談内容件数 103件

γ 外国人心理カウンセリング

言葉の問題や生活環境の違いなどから精神的問題を抱える外国人を対象に、臨床心理士（財団職員）が、問題の解決に向けた心理カウンセリングを、日本語または英語で行った。予約制で週3回（月・火・木曜日）開催。

- ・実施回数 133回
- ・相談者数 47名（18か国・地域）
- ・のべ相談件数 298件

イ ウクライナ避難民支援員の配置

来福したウクライナ避難民の生活支援等を行うため、引き続き、ウクライナ避難民支援員を配置した。

- ・相談者数 575名（（ア）一般相談・情報提供 α に記載の相談者数の内数）

ウ 外国人向け広報ラジオ番組

外国人住民に対し、財団が行う事業や福岡市国際会館の取組みなどについて、多言語ラジオ放送局・ラブエフエムを通じて、英語、中国語、韓国語、ネパール語及びベトナム語の5か国語による広報を行った。

（ア）放送 毎月いずれかの週の月曜日～金曜日、8:54～9:00

エ 外国人住民のための日常生活アドバイス

外国人住民の快適な生活を可能にするとともに、日本人住民と外国人住民双方の暮らしの安心感を高めるため、新たに福岡にきた外国人を対象とした自転車の交通ルール、ごみ出しルール等に関する出前講座を行った。

また、外国人住民を対象に、インターネット動画等による日本での生活に必要なルール、暮らしのヒントや防災知識の普及を行った。

（ア）協力 福岡市（市民局、環境局）

（イ）実施回数、受講者数

- α 交通安全・防犯 9回、378名
- β ごみ出しルール 10回、347名

オ 国際交流フロア及び留学生宿舍管理運営

留学生及びその他の外国人住民と市民との交流、並びにその他の国際交流の促進に資する事業を行う場を提供するとともに、福岡都市圏の大学等に在籍する外国人学生に比較的安価で良質な住居の提供を行った。

- (ア) 施設概要 4階 国際交流フロア(貸会議室等 5室)
 5階 世帯用宿舍(2K 5戸)
 6-9階 単身用宿舍(1R 54戸)

- (イ) 国際交流フロア利用件数 1,574件
 利用者数 13,425名

カ 「あったか福岡」外国人学生支援

外国人学生が有意義な生活を送ることができ環境づくりを推進するため、「福岡外国人学生支援の会」と共催で事業を行い、外国人学生の生活の安心感の向上を図った。

- (ア) 主 催 福岡外国人学生支援の会
 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
(イ) 事 務 局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
(ウ) 実施内容

a 日本語おしゃべり交流会

オンラインによる日本語おしゃべり交流会を開催し、外国人学生の日本語学習支援と参加者間の相互理解を図った。

- ・実施回数 10回(12月と3月を除く毎月1回)
- ・参加者数 147名

b 母語によるおしゃべり交流会

日本での生活・勉強における心配事などについて、外国人学生が母語で語り合える場を設けた。

- ・開 催 日 令和5年11月26日
- ・参加者数 10名
- ・言 語 中国語、ベトナム語

c 外国人学生が語るふるさとの街と福岡(奇数月の第3木曜日)

- ・実施回数 6回
- ・参加者数 162名

d 外国人学生歓迎交流事業

- ・開 催 日 令和5年11月23日
- ・内 容 福岡アジア美術館特別展「福岡アジア美術館ベストコレクション展」鑑賞
 歓迎パフォーマンス「覆面和踊り集団 太宰府まほろば衆」鑑賞
 日本人と留学生のグループによる博多旧市街のまち歩きクイズラリー
- ・参加者数 55名(留学生34名、日本人21名)

キ 地域における日本語教育の推進

地域の日本語教室で外国人住民の日本語学習を支援するボランティアを養成する講座や、地域の日本語教室活動に有用な多文化共生および日本語学習支援等の情報提供、並びに外国につながる子どもと保護者の支援を行った。

(ア) 日本語教室の担い手となるボランティアの養成、日本語教室の支援

α 日本語ボランティアの養成

地域の日本語教室で外国人住民の日本語学習を支援するボランティアを養成する講座を実施し、講座修了生の日本語教室での活動促進を行った。

(a) 日本語ボランティア入門講座

- ・講座内容 多文化共生ややさしい日本語等、外国人と接する際の基礎知識や教室見学を通じたボランティアの役割等の活動を開始するうえで必要な技術や知識を学ぶ講座を開催
- ・会場 6回オンライン、2回福岡市国際会館、2回地域の日本語教室
- ・回数 連続講座全10回
- ・対象者 これから日本語ボランティア活動の開始を希望する者
- ・受講者数 40名(修了者40名)

(b) 日本語ボランティアフォローアップ研修

- ・研修内容 日本語の教え方や教室での活動について学ぶ研修を開催
- ・会場 福岡市国際会館
- ・回数 連続講座全4回
- ・対象者 日本語ボランティア入門講座修了者
- ・受講者数 31名

(c) 日本語ボランティアスキルアップ研修の開催

- ・研修内容 多文化共生や日本語学習支援について必要な知識を学ぶ研修を開催
- ・会場 福岡市国際会館
- ・回数 全4回
- ・対象者 日本語ボランティア活動者
- ・受講者数 延べ65名

(d) よかトピア入門日本語クラス

- ・研修内容 日本語ゼロ初級者を対象に日本語教室を開催するとともに、日本語ボランティアの活動の場を提供した。
- ・会場 福岡市国際会館
- ・回数 連続講座全10回を2回、連続講座全6回を1回
- ・対象者 日本語ゼロ初級者
- ・受講者数 延べ37名

β 日本語教室支援

(a) よかトピア日本語学習支援メール

- ・発信内容 地域の多文化共生推進や日本語ボランティア活動、教室運営などに有益な情報をメールで発信
- ・対象者 情報提供を希望するメーリングリストへの登録者(令和6年3月末現在:136名)
- ・発信回数 41回
- ・発信者数 延べ4,428名

(b) 参考図書、教材の貸出し

福岡市国際会館4階国際交流フロアに日本語教育・学習、多文化共生等に関する参考図書コーナーを設置し、貸出しを行った。

・配架冊数 370冊(令和5年度受入 67冊)

c 日本語学習者への情報提供

(a) にほんご Class Map の発行

福岡都市圏で開催されている日本語教室(61か所)の情報を提供

(b) 日本語学習便利サイトを通じた情報提供

財団ホームページに、日本語学習に役立つウェブサイトのリンク集を掲載し、日本語学習者への支援を行った。

(イ) 外国につながる子どもと保護者の支援

a 夏休み親子日本語教室

- ・内 容 日本語学習支援等
- ・会 場 福岡市国際会館
- ・回 数 5回
- ・対 象 者 外国につながる小・中学生とその保護者
- ・受講者数 20名(保護者7名、子ども13名)

b 冬休み親子日本語教室

- ・内 容 日本語学習支援等
- ・会 場 福岡市国際会館
- ・回 数 3回
- ・対 象 者 外国につながる小・中学生とその保護者
- ・受講者数 13名(保護者4名、子ども9名)

c 外国につながる子どもの日本語学習支援研修会

- ・研修内容 外国につながる子どもの現状と課題および福岡市の日本語学習支援について学ぶ研修会
- ・開 催 日 令和6年2月4日
- ・会 場 ももち文化センター会議室
- ・対 象 者 外国につながる子どもへの日本語教育に関わっている人、関心のある人
- ・受講者数 45名

d 親子図書館見学ツアー

- ・内 容 やさしい日本語を使った福岡市総合図書館見学ツアー
- ・開 催 日 令和6年3月2日
- ・対 象 者 外国につながる小学生とその保護者
- ・受講者数 17名(保護者9名、子ども8名)

ク 地域の国際交流

日本人と外国人が同じ住民として互いを尊重し、協力し合う多文化共生社会の実現のため、地域での相互理解・国際交流の促進を目的に、共生コーディネーターが区役所や自治会等と連携し、交流事業を実施した。

また、令和3年度に作成した小冊子「地域の国際交流」の周知を図り、当財団の国際交流に係る支援メニューや地域での取り組み事例を参照してもらい、地域の国際交流の取組を促進するため、区役所・自治会・公民館担当者を対象に18回にわたり、告知と活動促進の依頼活動を行った。

(ア) 令和5年度の地域での国際交流事業実績

α 実施件数 5件(松島公民館、草ヶ江公民館、福岡市国際会館)

β 参加者数 115名(外国人68名、日本人47名)

ケ 災害時における外国人支援

災害時における外国人住民への情報提供などを円滑に行うため、福岡市との協定に基づき、福岡市が災害時に財団内に設置する「福岡市災害時外国人情報支援センター」の設置訓練等を行った。

(ア) 設置回数 0回

(イ) 設置訓練・研修

α センター設置訓練、三者通話操作研修

災害時外国人情報支援センターの運営方法について理解と習得を図ることを目的として設置訓練を実施するとともに、センター開設時に、災害に対する多言語での電話相談に速やかに対応できるよう、三者通話操作研修を実施した。

・開催日 令和5年6月1日

・会場 福岡市国際会館4階

・参加者数 財団職員15名、国際部職員8名 計23名

コ 外国人のためのおしごと相談会

地域における外国人向けの相談体制を強化するため、国内における外国人就職内定者及び外国人就業者を対象に、福岡出入国在留管理局及び福岡労働局と合同で相談会を開催した。

(ア) 開催日 令和5年12月17日、18日

(イ) 会場 JRE天神クリスタルビル

(ウ) 内容 福岡出入国在留管理局及び福岡労働局外国人雇用サービスセンターの担当者より、外国人の就労資格や関係労働法令などについて説明と個別相談会を実施した。

(エ) 参加者数 41名

サ ネパール人のための在留支援セミナー

ネパール人コミュニティからの要請を受け、在留資格等に関するネパール人対象のセミナーを開催し、制度の理解不足による不本意な帰国や法令違反が発生しないよう支援を行った。

(ア) 開催日 令和6年2月1日

- (イ) 会 場 博多市民センター
(ウ) 内 容 在留資格「留学」「就労」「永住」について福岡出入国在留管理局からの説明
博多警察署および当財団の担当者による相談窓口等の案内
(エ) 参加者数 70名

④ グローバル人材を育成する事業

ア 福岡市国際財団奨学金

海外から新たに福岡へ留学し、福岡での就職・創業を希望する外国人留学生の学習環境を整え、留学生と市民、企業との交流の機会を増やし、地域の国際化と地元定着の促進に寄与するため奨学金の給付を行った。

また、財団からの奨学金であることを認識し、福岡とのつながりを強く感じてもらうため、大学在籍期間をとおして、財団が実施する市民や企業との交流事業や地元企業でのインターンシップ等への参加を義務づけ、福岡への定着（創業・就職）実現に向けたサポートを行った。

更には、就職に関する情報提供や助言を随時行うほか、奨学生同士が就職活動についての情報交換をしたり悩みを共有する場の提供や定期的に面談を行い、学業や生活面についても、必要な支援を行った。

- (ア) 給 付 金 額 50,000円／月
(イ) 給 付 人 数 34名
(ウ) 給付対象期間 学部4年間／修士2年間

イ 留学生育英奨学金

福岡都市圏で学ぶ留学生が安心して勉学に励むことができる環境づくりを、生活資金面から支援するため、団体や企業、個人からの寄付金により奨学金の給付を行った。

- (ア) 給 付 金 額 大学院生 年額500,000円以上
学部生他 年額300,000円以上 （寄付者の希望により決定）
(イ) 給 付 人 数 13名
(ウ) 給付対象期間 1年間から （寄付者の希望により決定）
(エ) 寄 付 者 数 8（団体4および個人4）

ウ 日本人大学生留学奨学金（スタートアップ奨学金）

日本人大学生の海外留学の促進と福岡の国際競争力の強化を目的として、国際社会で活躍できるグローバル人材を福岡へ定着させるため、大学卒業後に福岡で就職・創業を目指す海外留学を行う日本人大学生に奨学金を貸与した。

また、当該奨学金受給者の福岡での創業・就職を促進するため、留学前研修や、帰国後の報告会、先輩奨学生との交流等を行うフォローアップ事業を実施した。

- (ア) 貸 与 金 額 最大1,200,000円／年
（留学先及び期間により異なる。福岡で創業または就職した場合は返還免除）
(イ) 貸 与 人 数 7名
(ウ) 留 学 前 研 修 令和5年 7月21日・27日
留 学 後 報 告 会 令和5年10月 3日
卒 業 生 による講 話 令和6年 3月13日

エ 留学生の就職支援（留学生と企業の交流サロン）

福岡で就職を希望する留学生を対象に、就職活動に必要な知識などの啓発及び地元企業と留学生の交流を行うことにより、留学生の就活支援及び福岡への定着を図る目的で実施。

令和5年度は、第1部：就活応援セミナー、第2部：企業との意見交換会、第3部：交流会の3部構成で実施した。

（ア）実施日 令和5年12月7日

（イ）参加者数 留学生47名、企業20社21名

（ウ）共 催 （公財）福岡よかトピア国際交流財団

福岡外国人学生支援の会

福岡・大連未来委員会

（一社）福岡県中小企業家同友会

福岡経済同友会国際委員会

（エ）後 援 福岡県留学生サポートセンター運営協議会

（3）事業報告の附属明細書

記載すべき事項は、ありません。

【理事会及び評議員会の開催状況等】

会議名	開催日	内 容
理事会	R5.4.1	議案審議（決議の省略による） ・評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	R5.4.1	議案審議（決議の省略による） ・評議員の選任に関する件
理事会	R5.4.12	議案審議（決議の省略による） ・理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	R5.4.12	議案審議（決議の省略による） ・理事の選任に関する件
理事会	R5.5.30	議案審議 ・令和4年度事業報告及び決算に関する件 ・定時評議員会の開催に関する件
理事会	R5.6.27	議案審議（決議の省略による） ・役員の任期満了に伴う次期役員の推薦に関する件
理事会	R5.6.28	議案審議（決議の省略による） ・評議員の任期満了に伴う次期評議員の推薦に関する件
評議員会	R5.6.28	報告 ・「役員賠償責任保険」の令和5年度契約締結に関する件 ・特定資産（よかトピア記念育英奨学金積立資産）の廃止及び特定資産（レインボー留学生基金）への組入れに関する件 ・令和4年度事業報告及びその附属明細書に関する件 ・令和5年度事業計画及び収支予算に関する件 議案 ・令和4年度貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録に関する件 ・役員の任期満了に伴う次期役員の選任に関する件 ・評議員の任期満了に伴う次期評議員の選任に関する件

理事会	R5.6.28	議案審議（決議の省略による） ・理事長1名選定に関する件 ・専務理事1名選定に関する件
理事会	R5.12.1	議案審議（決議の省略による） ・理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	R5.12.1	議案審議（決議の省略による） ・理事の選任に関する件
理事会	R6.3.13	議案審議 ・令和6年度事業計画及び収支予算（案）等に関する件 ・建物修繕積立資金の用途の拡大（目的外使用）の件 ・特定資産（経営安定化資金）の保有に関する件 ・「役員賠償責任保険」の令和6年度契約締結に関する件 報告 ・中期経営方針の中間評価に関する件 ・特定資産（八頭司留学生育英奨学金積立資金）の取崩金額の変更に関する件